



ともしび

— TO MO SI BI — 第353号

2025(令和7)年9月号

「ダイヤ改正」

処暑とは名ばかりで残暑の厳しい今日この頃、皆さんいかがお過ごしですか。

さて、タイトルの「ダイヤ改正」いったい何の話?と思われた方もいらっしゃると思いますよね。

実は、東久留米分院周辺で路線バスを運行している西武バスで、9月1日からダイヤが改正されるとのことなのです。と言っても、改正されるのは滝山営業所管内と小平営業所管内だけのようです。ですが、当院に路線バスでお越しの方には大変重要なことです。何せ、場合によっては法要や行事に間に合わないなんてことになりかねません。

詳しくは、西武バスに問い合わせただくか、バス停の時刻表をご確認ください!

意外と知らない仏教語

一切皆苦(いっさい かいく)

一切皆苦とは、お釈迦様がおっしゃった言葉です。

「世の中のすべては苦しみである」という意味があり、仏教では、「苦しみ」とは「思い通りにならないこと」と解釈します。あらゆることとが苦しみ(＝思い通りにならない)ということが、本当にその通りだなと実感しています。

つまり、思い通りにならないのが「あたりまえ」「普通」ということです。

この仏教の世界観で物事を見れば、見え方(受け止め方)が変わると思いませんか?

今までは、思い通りになることが「あたりまえ」、思い通りにならないことが「しんどい」だったのが、

一切皆苦の考え方で物事を見ると、思い通りにならないことが「あたりまえ」、思い通りになったことは「ありがたい(有難い)こと」だと気づかされます。

だからといって目の前で起こっている問題が無かったことになるわけではありませんが、思い通りにならないことが「あたりまえ」と思ったら、私は、少し気持ちが楽になったような気がしました。

毎日の生活の中で、こんな仏教の考え方を少し取り入れながら過ごしてみたいかがでしょうか。



8月の東久留米分院の様子

盂蘭盆会 総永代経法要

ご講師：白川 憲仁 師（東京都 正法寺）

8月11日（月）午後1時～

当日は、暑さの厳しいなか 28 名の方が参加くださいました。法要では、皆様からお預かりした過去帳を仏さまの前に置いてお勤めしました。初めて参拝された方もいらっしゃり、とても真剣に法話を聞いておられました。



法要の様子



法話の白川先生、二年ぶりの再会です！



8月が誕生日の皆さんと記念撮影！

その他のお知らせ

東久留米分院からのお知らせ

【終活ミニ講座開催について】

まだまだ暑い日が続いておりますが、皆さまお変わりありませんか？
さて、9月23日（火祝）の秋季彼岸会に引き続き、終活ミニ講座「終活ははじめの
一歩」を開催いたします。

- ・終活って何をすればいいの？
- ・自分の終活はこれで大丈夫？ など

そんな疑問や不安を、終活のプロと一緒に解決しましょう！

記

日時 9月23日（火祝） 秋季彼岸会引き続き[14:30頃から]
※お彼岸の法要に続いて開催するので時間は目安です。
場所 東久留米分院 本堂にて
内容 終活ミニ講座「終活ははじめの一歩」
講師 堀田純子（エンディングプロデューサー）

事前予約不要で、どなたでも参加できます。
ご家族・お知り合いの方などもお誘いあわせのうえ、是非ご参加ください。

○堀田純子さん プロフィール

JADB 認定 終活ライフケアプランナー東急グループ終活セミナー講師 / 週刊朝日
「シニアライフを充実させるための終活とは」執筆 / テレビ北海道 ぶっちゃけ終活 TV
レギュラー出演等

以上

▶ 9月の行事予定

奉仕活動

9月7日(日) 午前8時頃～

毎月第一日曜日の晨朝勤行(朝のおつとめ)の後、有縁者の皆様に奉仕活動を行っています。皆さまのご参加お待ちしております。

秋季彼岸会

終活ミニ講座

9月23日(火祝) 午後1時～

法話講師: 澤田 唯 師(茨城県 安楽寺)

終活講師: 堀田 純子さん(エンディングプロデューサー)

秋季彼岸会では、お彼岸の法要(読経)と、法話(仏さまのお話)を行います。その後には終活ミニ講座も開催します。是非お越しください。

▶ 10月の行事予定

常例法座

10月12日(日) 午後1時～

ご講師: 板敷 諒 師(茨城県 豊安寺)

仏さまのお話を、やさしく・わかりやすくお話くださいます。是非お越しください。

先月のご進納

【お仏飯米】

近藤 敏之様 浅野 由美様
西 ユリ子様 山下 肇様
(順不同)

誠にありがとうございました。

編集後記

いつも「ともしび」をお読みいただきありがとうございます。

灼熱の八月をなんとかやり過ごして、九月になったというのに相変わらず暑い日が続いていますね。しかも、暑いだけではなく、新型コロナウイルスの感染が拡大しているとか。しかも、いま流行している新型コロナウイルス変異株は感染するとカミソリを飲み込んだような強烈なノドの痛みを伴うのが特徴だそうです。手洗い・マスク着用などの対策で感染を阻止しましょう。

東久留米分院会報「ともしび」

通 刊 353号

発行日 2025年9月1日

発行者 伊藤 法友

住 所 東京都東久留米市柳窪5-8-30
電 話 042-474-6787